

愛知県農業総合試験場は、研究開発力の一層の強化を図るため、静岡県、岐阜県、三重県の農業関係試験研究機関と研究協力に関する協定を締結しました。

東海地域は、温暖な気候条件と肥沃な土壌を生かした農業生産が盛んな地域です。水稲や露地野菜の生産では、規模拡大が進み、野菜や花の生産では施設化が進んでいるのが特徴ですが、農業生産資材価格の高騰、農産物の価格の低迷により農業経営は厳しい状況にありました。そこで、地域を越えて解決すべき課題について、東海地域各県が協力・連携して問題解決に当たり、低コスト生産技術、環境負荷低減技術の確立など地域農業の発展に不可欠な技術開発を進めるため、研究機関間の組織的な連携体制の構築を図っていきます。

#### 【研究連携する項目】

##### ア 最新科学技術に関する情報交換、情報発信

研究員相互の交流を深め、最新技術に関する情報交換を行い、研究の高度化、効率化を進めます。また、農業関係者を始め多くの県民に情報発信を行い、農業の理解、関心を深めます。

##### イ 連携した研究等の推進

東海地域の農業に共通した課題に対して、相互に協力し解決するための研究戦略を企画し、連携して研究を行っていきます。

##### ウ 研究員の交流と人材育成

技術シーズの習得や技術情報の共有化を図り、研究者の技術レベルを高め、研究開発の能力向上を図っていきます。



4県5研究機関の長による調印  
(11月18日 ウィンクあいちにて)



研究協力に関する協定書